

平成26年版

松江市観光白書

【資料編】

松 江 市

目 次

【資料編】

1. 主な観光資源	1
2. コンベンション施設	11
3. 交通機関	12
4. 景観対策	14
5. 松江市観光関係年表	16
6. 松江市観光関係事業補助金など	42

IV. 資料編

1. 主な観光資源

(1) 自然系資源

■国立公園

名 称	主な観光資源	概 要
大山隠岐 国立公園	加賀潜戸 多古七ツ穴 北浦海岸 (松江市に係するもののみ掲載)	公園区域は大山から隠岐島におよび大変広範囲からなる。島根半島部は東側が沈降海岸、西側が隆起海岸となっており、出入りの多い複雑な海岸線に、断崖、洞門、洞窟などが続く優れた景観を呈している。 昭和11年2月1日指定 公園区域 35,353ha

■県立自然公園

名 称	主な観光資源	概 要
宍道湖北山 県立自然公園	宍道湖 枕木山 華蔵寺 (松江市に係するもののみ掲載)	- 日本で第7番目の大きさをもつ宍道湖、その北側を東西に走る島根半島北山山系の嵩山、枕木山、朝日山などからなっている。 - 区域内には華蔵寺などの文化財がある。 昭和39年4月17日指定 公園区域 10,618ha

■湖

名 称	所在地	交 通	周囲の延長 (面積)	水 深	概 要
宍道湖	松江市 出雲市	JR松江駅 徒歩10分	約45km (79.1Km ²)	3~6m	- 松江市の西にひろがる湖で、昔から夕景の美しさで名高い。海水の少しまじった汽水湖で魚介類が豊富。 - 全国で7番目に大きい湖。 - 老松の中に神社と鳥居があり、夕景の美しさで有名な嫁ヶ島(面積0.27ha)がある。
中海	松江市 安来市 米子市 境港市	JR東松江駅 徒歩5分	約83km (86.2Km ²)	最大14m	- 宍道湖と日本海を結ぶ湖で、中央にボタンで有名な大根島がある。 - 全国で5番目に大きい汽水湖。

■温泉

名 称	所在地	温度	泉 質	効 能
松江しんじ湖温泉	松江市千鳥町	77.0℃ ～ 81.5℃	ナトリウム－塩 化物・硫酸塩泉	神経痛、慢性皮膚病、 慢性消化器病
玉造温泉	松江市玉湯町玉造	50.0℃ ～ 72.0℃	硫酸塩 塩化物泉	リュウマチ、胃腸病、 皮膚病
八雲温泉	松江市八雲町熊野	43.0℃	含弱放射能・ ナトリウム、 カルシウム・ 硫酸塩泉	神経痛、筋肉痛、五十肩
きまち温泉	松江市宍道町上来待	15.0℃	アルカリ性 硫黄鉱泉	皮膚病、慢性リュウマチ、 神経痛
鹿島多久の湯	松江市鹿島町北講武	50.5℃	ナトリウム－塩 化物・硫酸塩泉	神経痛、関節痛、 動脈硬化症など
きまち湯治村 「大森の湯」	松江市宍道町上来待	32.0℃	アルカリ性 単純泉	神経痛、運動麻痺、 疲労回復

(2) 歴史的資源

■神社・仏閣

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
神魂神社	松江市大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩10分	主祭神：伊弉冉尊 例祭(10月18日) 御釜神事 (12月13日)	1346年 建造	現存する大社造りの社殿のうち最も古く国宝。巨大な自然石を積み上げた石段といい古代出雲の神々の里らしいたたずまいを見せる。
八重垣神社	松江市佐草町	JR松江駅 バス30分	祭神：素盞鳴尊、 稲田姫 身隠神事(5月3日)	奈良時代 以前 創建	本殿は大社造り。平安末期の板絵神像は重要文化財。鏡の池は良縁を願う若い女性に人気がある。
六所神社	松江市大草町	JR松江駅 バス20分 徒歩20分	例祭(10月15日)	奈良時代 創建	かつての出雲国総社。広い境内に本殿、向拝、拝殿などがあり、岡田山古墳の出土品も収められている。

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
平浜八幡宮 (武内神社)	松江市八幡町	JR東松江駅 徒歩10分	武内神社例祭 (8月31日)	1111年 創建	八幡宮は菅田別命、武内神社は武内宿禰を祀る。長寿の神として近隣の尊崇が厚い。最近は交通安全祈願をする人も多い。
松江神社	松江市殿町 城山公園内	JR松江駅 バス10分 徒歩5分	祭神：松平直政 徳川家康 堀尾吉晴 松平治郷 例祭(5月5日) (11月5日)	1875年 創建	昔は西川津にあり楽山神社といったが、維新後に松江東照宮(西尾町)と合祀し明治32年現在の地に移された。
佐太神社	松江市鹿島町 佐陀宮内	JR松江駅 バス30分	主祭神：佐太大神 例祭(9月25日)	1807年 造営	出雲大社に次ぐ出雲二の宮と呼ばれている。本殿は三殿並立という珍しい大社造りで、国の重要文化財に指定。
美保神社	松江市美保関 町美保関	JR松江駅 バス70分	祭神：三穗津姫命 事代主神	1813年 再建	本殿は大社造りを2棟並べて装束の間でつないだ「美保造り」で、国の重要文化財に指定。
熊野大社	松江市八雲町 熊野	JR松江駅 バス30分 徒歩5分	祭神：伊邪那伎日 真名子 加夫呂伎熊 野大神櫛御 氣野命	奈良時代 以前 創建	「出雲国風土記」によると「大社」と呼ばれるのは熊野大社と出雲大社の二社のみで、熊野大社が上位であったとされる。
玉作湯神社	松江市玉湯町 玉造	JR玉造温泉 駅 バス10分	夏祭り(7月15日) 例大祭(10月10日)	奈良時代 以前 創建	温泉と勾玉の神が奉られる「出雲国風土記」に記載のある古社。触れて祈れば願いが叶うと古代から伝えられている「願い石」がある。
揖夜神社	松江市東出雲 町揖屋	JR揖屋駅 徒歩5分	穂掛祭(8月28日)	奈良時代 以前 創建	「日本書紀」に言屋社として登場し、出雲大社の建立に関わったといわれる神社。黄泉の世界と縁深い神社として中央でも重視された。
阿太加夜神社	松江市東出雲 町出雲郷	JR揖屋駅 バス10分	松江城山稻荷神社 式年神幸祭「ホー ンエンヤ」(10年毎 開催(5月))	奈良時代 以前 創建	意宇川のほとりに「有」の社紋を持つ大社づくりの本殿が拝まれる神社。境内には8世紀中頃の出雲国司であった門部王が奈良の都への望郷を募らせて詠んだ歌の碑が建立されている。

名 称	所在地	交 通	祭神・例祭・ 神事・芸能	創建・建 造・構造	概 要
月照寺	松江市 外中原町	JR松江駅 レイクライン 25分	茶筌供養(4月下旬)	1664年 創建	松江藩主松平家の菩提寺で初代から九代目までの墓所。廟門は各時代の特徴を反映している。
天倫寺	松江市堂形町	JR松江駅 バス15分 徒歩15分		1611年 創建	堀尾吉晴が祈願所として創建した。境内には重要文化財の青銅の朝鮮鐘があり、細密精巧な彫刻と音のいいことで有名
普門院	松江市北田町	JR松江駅 バス12分 徒歩5分	夏祭り (7月14～15日)	1689年 再建	松平家の祈願所として栄えた天台宗の寺。往時の面影をしのぶ茶室観月庵は有名。
華蔵寺	松江市枕木町	JR松江駅 車40分	華蔵寺例祭 (5月8日)	803年 開山	枕木山の山頂近くにある臨済宗の古刹。かつて11坊を数え隆盛を極めた。薬師如来座像は国の重要文化財。
円成寺	松江市栄町	JR松江駅 バス10分 徒歩3分	筆供養(11月3日) 堀尾祭(11月6日)	1611年 開創	堀尾三代の菩提寺で、忠晴の木像をはじめ堀尾氏ゆかりの遺品がある。
報恩寺	松江市玉湯町	JR玉造温泉 駅 徒歩20分		724年 開基	宍道湖そばの小高い丘に建ち藩政時代には松江城の裏鬼門にあたり祈願寺として崇敬されていた。木造十一面観音立像は、高さ4.26mの長谷寺式の大作は県内最大。室町末期(1538年)、京都の仏師康運の作。昭和43年島根県指定文化財。堀尾忠氏の墓碑が建設されている。

■ 記念碑・墓碑等

名 称	所在地	交 通	概 要
小泉八雲記念碑	松江市千鳥町 千鳥南公園内	JR松江駅 バス15分	碑は八雲の愛した宍道湖に向かって建つ。「神々の首都松江」の一文が日英両文で刻まれている。
源助供養碑	松江市白湊本町 松江大橋南詰	JR松江駅 徒歩10分	松江大橋架橋の際、人柱として生き埋めにした足軽源助を供養するために建立された。
雷電為右衛門碑	松江市外中原町 月照寺境内	JR松江駅 レクリン25分	天下無敵の力士として知られる雷電為右衛門は、松平不昧公のお抱え力士で手型を彫った碑は藩主の廟所がある月照寺内に建つ。
天隆院寿蔵碑	松江市外中原町 月照寺境内	JR松江駅 レクリン25分	小泉八雲の怪談に登場する、大亀の背に乗った石碑は、六代松平宗衍(むねのぶ)の寿蔵碑
青柳楼の大灯籠	松江市灘町 白湊公園内	JR松江駅 徒歩15分	幕末に藩の窮状を救った玄丹お加代ゆかりの通称「お加代灯籠」で、宍道湖を行きかう船の灯台の役を果たした。
岸清一立像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	法曹界の権威者であるとともにわが国体育競技界の育ての親である岸清一の立像
若槻禮次郎胸像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	慶応2年松江に生まれ、大正15年と昭和6年の2回民政党を率いて総理となった若槻禮次郎の胸像
高浜虚子句碑	松江市北堀町 小泉八雲旧居内	JR松江駅 バス15分	俳人高浜虚子が松江を訪れたのは昭和7年の秋、句碑には「くはれもす 八雲旧居の秋の蚊に」と刻まれている。
名勝御津御島記念碑	松江市鹿島町 御津御島	JR松江駅 バス45分	大正15年に、松陽新報社主催で行われた山陰十景の一般投票で1位になったことを記念して建立された。碑には、当時の総理大臣若槻禮次郎の書が刻まれている。
増田渉先生顕彰碑	松江市鹿島町 鹿島文化ホール前	JR松江駅 バス40分	松江市鹿島町片匂出身で、中国の文豪魯迅と親交があり、また、多くの魯迅作品を翻訳し、日中友好に貢献した増田渉の功績を顕彰する碑。
清原太兵衛紀功碑	松江市鹿島町 さいのかみ公園	JR松江駅 バス40分	宍道湖の治水対策のために運河佐陀川を開削した太兵衛翁の功績を記した記念碑。
松平直政公銅像	松江市殿町 県庁前庭	JR松江駅 バス10分	松平家初代の直政公は、富国・安民・質素・節財等の大綱を示し、藩政の基礎を固めた。
堀尾吉晴公銅像	松江市殿町 大手前広場	JR松江駅 バス10分	松江開府の祖として知られる堀尾吉晴は、子で初代藩主の忠氏急死により、2代藩主の忠晴を助けて松江城と城下町を建設し、現在の松江市の礎を築いた。

■茶室

名 称	所在地	交 通	築造期	概 要
明々庵	松江市 北堀町	JR松江駅 バス15分	1779年	かつては松江藩家老有澤家の本邸にあったが、維新後転々として現位置に復元された。
菅田菴	松江市 菅田町	JR松江駅 バス20分 徒歩15分	1792年	七代藩主松平治郷の指図で、家老有澤家の山荘に建てられた。国の重要文化財。 現在、一般公開されていません。
観月庵	松江市 北田町	JR松江駅 バス12分 徒歩5分	江戸中期	普門院の境内にあり、七代藩主松平治郷と親交が厚かった住職観月庵恵海が開いたもの。小泉八雲もここでお茶の手ほどきをうけた。

(3) 文化・生活資源

■味覚・料理・特産

品 名	概 要
出雲そば	出雲そばは甘皮を一緒にひくため色は黒いが香りが高く、コシが強い。 食べ方の代表は割子そば。
宍道湖七珍	宍道湖でとれる魚 シラウオ、アマサギ、シジミ、スズキ、ウナギ、コイ、モロゲエビ
ぼてぼて茶	泡立てた塩番茶の中に、ご飯、細かく刻んだ煮豆、佃煮、漬物などを入れ、混ぜ合わせて食べる。
あご野焼(かまぼこ)	山陰沿岸の日本海で獲れるトビウオを主原料として、地酒・みりんで味付けした野焼かまぼこ。
茶	松平不昧公の時より松江は茶処として名高く、深い味わいと香り高い銘茶を製造している。
津田かぶ漬	津田かぶを生干ししてから糠漬けにし、重石をして2週間で食べごろになる。あざやかな赤紫色と独特の甘味がある。
和菓子	松江は、菓子処として有名であり、数多くの和菓子が製造されており、中でも、山川・若草などが有名である。
地 酒	市内には、4つの酒造元がある。 銘柄：李白・国暉・豊の秋・王祿
西条柿	本庄地区、畑地区（東出雲町）で盛んに作られている。
ほし柿（西条柿）	本場の本物に認定された畑地区（東出雲町）の特産品。戦国時代から伝わっており、色合、大きさ、味の三拍子が揃い、糖度は日本一と言われている。乾燥場に吊るされた柿すだれの景観が有名である。
板わかめ	わかめをすだれ等の上で板状に整形して乾燥したもの。 「めのは」とも呼ぶ。
雲州人参 (朝鮮人参)	大根島（八束町）の特産。 江戸時代に栽培が始まり、松江藩の財政を支えた。高品質で海外市場でも高い評価を得ている。

■島根県ふるさと伝統工芸品

分 類	名 称	製造者	住 所	概 要
石工品	出雲石灯ろう	来待石灯ろう協同組合 松江石灯ろう協同組合	松江市宍道町 東来待1644-1 松江市 黒田町86	宍道町来待を中心に産出する来待石を使った石作工は松江城築城ごろから隆盛をみるようになった。 灯ろうは比較的安価で苔のつきが早く、庭園になじみやすい。
漆 器	八雲塗	島根県八雲塗振興会	松江市 殿町191	優雅なうるし絵の上に天然透漆を幾度もぬり重ねて磨き上げ、年数がたてばたつほど文様が浮き出てくるのが特徴。
陶 器	楽山焼	長岡住右衛門	松江市 西川津町2512	300年以上の歴史があり、いろぼ釉による水さし、香合、抹茶茶碗等、茶陶の代表窯として有名。
	袖師焼	尾野 晋也	松江市 幸町803-13	出雲の土と伝統を巧みに生かして、簡素で使い良く、丈夫な作品を特徴としている。
	布志名焼	雲善窯（土屋 幹雄） 雲寅窯（舟木 康定） 船木窯（船木 伸児） 湯町窯（福間 琇士）	松江市玉湯町	江戸中期に開窯したといわれ、江戸時代には松江藩の御用窯として栄え、明治以降は布志名の特徴である黄釉を使った製品が全国的に流行し海外にも多く輸出された。その後、民芸運動の高まりの中で作風を変えていった。
毛 筆	松江筆	松江毛筆授産場	松江市 内中原町 190-4	江戸時代初期につくり始められたといわれる。軸の付け根から先端まで鋭い円錐形で、穂にふくらみのないことが特徴で、いつも同じ太さに書けるので使いやすい。穂はヒツジ、タヌキ、イタチなどの良質な毛を使って仕上げている。
人 形 玩 具	松江姉様	松崎 昭子	松江市 中原町 322	江戸時代から伝わる姉様人形の一つといわれ、島田・桃割れ・おかっぱの3種1組の和紙人形。表情がおだやかで気品がある。
	松江 和紙てまり	絹川 ツネノ	松江市 大庭町 1614	手まりに出雲民芸和紙を貼り、刺しゅう糸でかがり、ちぎり絵をしたもの。図柄は花、干支などで鑑賞用、縁起物、厄除けとして用いられる。

分 類	名 称	製造者	住 所	概 要
木竹品	松江藩 籐細工	長崎 誠	松江市 大庭町 1614	江戸時代末期から作り始められたといわれ、花かごや茶道具の炭斗(すみとり)などに編まれ、全国的にも珍重されている。
	仏像彫刻	川島 康文	松江市 内中原町 246-2-202	桧や楠などの原木から仏像造りに適した部位を見分け、一木造や寄木造等の伝統的な手法を用いて仏像を製作する。制作者は京佛師に師事し、こうした伝統的な技法を受け継ぎ、高い技術に裏付けられた製作活動を展開している。
和 紙	出雲民芸紙	出雲民芸紙工房	松江市 八雲町東 岩坂1733	出雲民芸紙は、その種類の多さが特徴。はがき・名刺・便箋・短冊・色紙・記録紙と様々。用途によって原料や漉き方が変わり、やわらかい風合いと丈夫で長持ちが魅力。
貴石細 工	出雲めのう 細工	有限会社 伝承館	松江市 玉湯町湯 町1755	玉湯町にある花仙山から産出する青めのうは、古代から勾玉などに加工されており、現代も装飾品として珍重されている。

■郷土芸能〔松江市伝統芸能文化保護育成協議会（S49.3 発足）参加の民俗芸能団体〕

団 体 名	団 体 名
伝承ホーランエンヤ馬潟權伝馬保存会	神魂神社禱家神事
魚瀬左吉兆とんど行事	本庄町左義長しゃぎり保存会
平濱八幡宮トーレトーレ御神事	八重垣神社身隠し神事
松江市鑿行列保存会	佐陀神能保存会
秋鹿大日堂御頭行事保存会	佐太神社古伝神事保存協会
亀尾神能保存会	美保神社神事保存会
伝承大井ホーランエンヤ保存会	関乃五本松節保存会
大海崎伝承ホーランエンヤ保存会	熊野大社神事・八雲楽保存会
伝承ホーランエンヤ矢田保存会	宍道町角道協会
福富ホーランエンヤ保存会	島芝翫節保存会
揖夜神社奉賛会	陣幕会
島根町大漁節保存会	

※順不同
(平成 27 年 3 月末現在)

(4) その他の資源

■博物館・美術館・資料館等

名 称	所在地	交 通	概 要
島根県立八雲立つ 風土記の丘 展示学習館	松江市 大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩5分	風土記の丘地内から出土した石器時代から縄文・弥生・古墳時代を経て律令時代に至るまでの資料を展示。
島根県立美術館	松江市 袖師町	JR松江駅 徒歩15分	特別展以外常設展示を行っている。 美術館から宍道湖の夕日が見られ、日没の時間に合わせて開館時間が延長となる。
田部美術館	松江市 北堀町	JR松江駅 バス15分	田部家25代にわたるコレクションの中から、特に茶道関係のものを選んで展示。
小泉八雲記念館	松江市 奥谷町	JR松江駅 バス15分	小泉八雲が日頃愛用した遺品200点を含む約1,000点を収蔵、常時約200点を展示。
松江歴史館	松江市 殿町	JR松江駅 バス10分 徒歩5分	H23.3開館。江戸末期から昭和まで約100年間の歴史・民族資料・工芸品などの郷土資料を展示。 常設展示のほか、様々なテーマを取り入れた企画展を開催。
出雲かんべの里	松江市 大庭町	JR松江駅 バス20分 徒歩10分	民話館では、マジックビジョンによる「耳なし芳一」の上演や、語り部による、いろりを囲んでの民話や神話の紹介。工芸館では5つの工房があり作家による工芸品の制作過程の見学や作家の指導による体験学習(要予約)が可能。
和紙のはくぶつかん 安部榮四郎記念館	松江市 八雲町	JR松江駅 バス30分	人間国宝の安部榮四郎のコレクションを展示する記念館。国内外の紙や和紙製品、そして、生前親交のあった棟方志功、河井寛次郎などの作品も常設。
松江ホーランエンヤ伝承館	松江市 殿町	JR松江駅 バス10分 徒歩5分	H24.10開館。松江城山稻荷神社式年神幸祭(ホーランエンヤ)の起源と歴史、五大地ごとの權伝馬船、踊りについて映像とグラフィックで紹介。
来待ストーン	松江市 宍道町	JR来待駅 徒歩10分	来待地区でしか産出されない「来待石」は、加工しやすいという石の特性を活かし、燈籠や住宅建材などに用いられる。その歴史や文化を紹介。
メテオプラザ	松江市 美保関町	JR松江駅 バス45分	H4.12に落下してきた美保関いん石の保存展示や宇宙関連映像の上映。
松江市立出雲玉作資料館	松江市 玉湯町	JR玉造温泉 駅 バス10分	常設展では、「古代出雲の玉作り」を柱に「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」などが展示される全国唯一の資料館。

■キャンプ場

名 称	所在地	交 通	管理者	開設期間	施 設
忌部自然休養村 キャンプ場	松江市 西忌部町	JR松江駅 車30分	忌部開拓 農業協同組合	7月10日 ～ 9月20日	テントサイト48 炊事場有り ファイヤー場1か所 トイレ、シャワー
松江市宍道ふるさと 森林公園	松江市 宍道町	JR松江駅 車30分	(財)宍道湖西岸 森と自然財団	通年	テントサイト8、林間サイト4 オートサイト15、フリーサイ ト、ケビン2 共同炊事場有り ファイヤーサークル1か所 トイレ
天空の岬 マリナーパーク多古鼻	松江市 島根町	JR松江駅 車30分	(財)島根町 地域振興財団	通年	フリーテントサイト3ヶ所 キャビン15 炊事場有り トイレ、管理棟
小波キャンプ場	松江市 島根町	JR松江駅 車30分	小波区	7月1日 ～ 8月31日	テントサイト72 炊事場有り トイレ、シャワー、管理棟 バーベキュースペース
桂島キャンプ場	松江市 島根町	JR松江駅 車25分	加賀観光協会	7月1日 ～ 8月31日	テントサイト30 炊事場有り トイレ、管理棟

■遊覧船

名 称	所在地	乗船場	内 容
宍道湖観光遊覧船 「はくちょう号」	松江市東朝日町	第1乗船場 松江市東朝日町 第2乗船場 松江市伊勢宮町	宍道湖を約1時間か けて周遊する。
堀川遊覧 「ぐるっと松江堀川めぐり」	松江市黒田町	松江堀川ふれあい広場 カラコロ広場 大手前広場	堀川を約50分かけて 周遊する。
矢田の渡し	松江市朝酌町	松江市朝酌町	大橋川を就航する渡 船
潜戸遊覧船	松江市島根町	マリンプラザしまね	加賀の潜戸までを約 50分かけて3月～11月 周遊する。

2. コンベンション施設

主会場の収容人員が100名以上ある会議用、コンベンション用施設は、現在38ある。

これらは、公共施設以外には、ホテル、旅館等であり、いずれも主会議場のほかに、いくつかの中小会議場を併設している。

平成5年秋、県立産業交流会館（くにびきメッセ）がオープンし、各種大規模大会が可能となり、平成12年4月には松江テルサがオープンし、J R松江駅前の新しいシンボルとなった。

名 称	所在地	交 通	内 容
島根県立産業交流会館 （くにびきメッセ）	松江市学園南	J R松江駅 徒歩10分	大展示場（5,000席以上） 多目的ホール（650席以上） 小ホール（300席以上） 国際会議場 （四か国語同時通訳設備） 中小会議室（7室） 商談室（11室） 特別室 レストラン

主会場収容席数別会議施設数

収容席数（席）	箇所数	備 考
2,000 席以上	2	松江市総合体育館・くにびきメッセ
1,000～1,999 席	2	島根県民会館・松江テルサ
800～999 席	1	松江市総合文化センター
500～799 席	3	松江卸センター・ホテル一畑ほか
400～499 席	2	玉造グランドホテル長生閣ほか
300～399 席	7	
200～299 席	7	
100～199 席	14	
計	38	

コンベンション補助金の概要

松江市コンベンション開催支援補助金制度

松江市内の施設で開催される、中国地区以上の規模のコンベンションにおいて、市内宿泊施設に宿泊する延べ人数が50人を超える場合に適応。スポーツ大会においては、延べ宿泊者数が300人以上であるもの。

松江市歓迎看板・郷土芸能の提供

松江市内で開催される場合に限り歓迎看板の掲出と郷土芸能の公演を補助する。

松江市コンベンション観光バスの運行

松江市内で開催されるコンベンションのエクスカージョン等でバスが必要な場合にバスを無料手配する。

3. 交通機関

(1) 鉄 道

J R 西日本・山陰本線と一畑電車（松江一大社・出雲）がある。

(2) 道 路

大橋川・宍道湖南岸に国道 9 号が、美保関町境水道大橋から市内中心部を通過して宍道湖北岸に国道 431 号が、国道 9 号相生町から南へ国道 432 号が走っている。

平成 25 年 3 月の松江だんだん道路の全線開通により、縁結び大橋を加えた 6 つの大橋により、大橋川等により隔てられた市の南北が結ばれているが、市街地中心部の道路は、江戸時代の面影を残しており、幅員が狭く「鍵型」の交差点も多く残っている。

高速道路関係では、平成 4 年 12 月に米子自動車道全線開通、平成 9 年 3 月に岡山自動車道全線開通となった。

また、平成 13 年 3 月に山陰道（安来～宍道間）が開通後、平成 19 年 11 月に斐川、平成 21 年に 11 月には出雲まで西方に路線が延長した。

尾道松江線の松江自動車道は、平成 15 年 3 月に宍道～三刀屋木次間が開通し、平成 25 年 3 月に三好東まで全線開通した。

同じく、尾道松江線の尾道自動車道は、平成 22 年 11 月に尾道～世羅間が開通、平成 26 年 3 月に吉舎～三次東間が開通し、山陽・四国方面との時間短縮が図られている。

（国県事業推進課より）

(3) 長距離バス

- ・松江－東京〔渋谷〕（1 日 1 往復 約 10 時間 35 分）
- ・松江－大阪〔阪急梅田・新大阪〕（1 日 8 往復 約 4 時間 40 分）
- ・松江－神戸〔三宮〕（1 日 4 往復 約 4 時間 20 分）
- ・松江－福岡〔天神〕（1 日 1 往復 約 10 時間 10 分）
- ・松江－広島（1 日 14 往復 約 3 時間 10 分）
- ・松江－岡山（1 日 7 往復 約 3 時間 15 分）
- ・松江－京都（1 日 4 往復 約 4 時間 55 分）
- ・松江－名古屋（1 日 1 往復 約 9 時間）
- ・松江－尾道・福山（1 日 3 往復 約 4 時間 25 分）

(4) 航 空

市内から出雲空港と米子空港は、ほぼ等距離にある。

出雲空港（バス 30 分）－	東 京	J A L	1 日 6 便（約 80 分）	
	大 阪	J A C	1 日 5 便（約 60 分）	
	福 岡	J A C	1 日 2 便（約 70 分）	
	隠 岐	J A C	1 日 1 便（約 30 分）	
米子空港（バス 45 分）－	東 京	A N A	1 日 6 便（約 80 分）	
	東 京	S K Y	1 日 1 便（約 2 時間 50 分	神戸乗継）
	神 戸	S K Y	1 日 1 便（約 40 分）	
	那 覇	S K Y	1 日 1 便（約 2 時間 20 分）	
	宮 古	S K Y	1 日 1 便（約 3 時間 45 分	那覇乗継）

石 垣 S K Y 1 日 1 便 (約 5 時間 那覇乗継)
韓国ユル アシアナ 週 3 便 (約 100 分)

(政策企画課より)

(5) 海 路

美保関七類・境港から隠岐島へ隠岐汽船が高速船、フェリーを運航している。

- ・七類港 (バス 40 分) — 隠岐 (高速船レインボー 約 1 時間 10 分)
(フェリー 約 2 時間 20 分)
- ・境 港 (バス 40 分) — 隠岐 (高速船レインボー 約 1 時間 20 分)
(フェリー 約 4 時間 10 分※)

*所要時間は、西郷港までの時間とし、※印は西ノ島経由の時間とする。

(政策企画課より)

(6) 駐車場 (市営)

- ・松江駅前地下駐車場 (収容台数 普通車 11 台)
- ・大手前駐車場 (収容台数 普通車 66 台)
- ・城山西駐車場 (収容台数 普通車 136 台 バス 28 台)
- ・白潟駐車場 (収容台数 普通車 135 台)
- ・くにびき駐車場 (収容台数 普通車 233 台)
- ・松江駅南口駐車場 (収容台数 普通車 37 台)

(松江市観光振興公社 ほか)

(7) 観光交通手段

①観光ループバス (ぐるっと松江レイクライン)

市内の主要観光施設を結ぶ観光ループバスで 20 分間隔で運行している。

②観光タクシー

市内各社により実施し、希望にあわせた時間単位の市内コース及び近郊コースがある。

③レンタカー

J R 松江駅周辺に 7 社ある。

4. 景観対策

(1) 本市における独自条例に基づくこれまでの取り組み

昭和 48 年に独自の条例である「松江市伝統美観保存条例」により「塩見縄手地区」を、昭和 50 年には「普門院外濠地区」を、平成 11 年には「城山内濠地区」を松江固有の伝統美観を持つ地区として『伝統美観保存地区』に順次指定し、門・堀の復元、堀沿いの松の移植・補植など観光資源となる伝統的町並み景観の保存を図ってきた。

平成 5 年には島根県において宍道湖周辺を景観形成地域に指定し、水の都松江の象徴である宍道湖の景観に対する規制誘導を行ってきた。

平成 6 年には「松江市都市景観条例」を制定し、松江市全域において市民共有の財産である重要な景観資源に対する配慮及び周囲の景観との調和を図るため、景観形成上の影響が大きい大規模な建築物や工作物等の建設行為等について必要な措置を定めるなど、景観行政を推進しながら観光資源などの保存に努めてきた。

(2) 景観法に基づく取り組み

平成 16 年に「景観」そのものの整備・保全を目的とするわが国初めての総合的な法律である「景観法」が制定されたのを受け、松江市は、平成 17 年 5 月 1 日にこの「景観法」に基づく景観行政団体となった。市民、事業者、行政がそれぞれの責務を積極的に果たしながら、美しく風格ある松江固有の景観を守り（保全）、開発と保全との調和のとれた快適で安全な魅力あるまちを育て（創造）、市民共有の財産として後世に伝える（継承）ことを目的として、『松江市景観計画』を策定。また、松江市伝統美観保存条例及び松江市都市景観条例並びに島根県「ふるさと島根の景観づくり条例」を踏襲し、さらに、「景観法」に定められている委任条項を付加して、新たに「景観法」に基づく条例として『松江市景観条例』を制定し、個性豊かで良好な景観づくりを行っていくことにより、観光資源などの保存を図っている。

また、屋外広告物は、景観に与える影響が大きい要素であることから、平成 20 年に、『松江市景観計画』や松江市の地域特性、土地利用に即した屋外広告物の基準を定めた『松江市屋外広告物計画』を策定。平成 21 年 4 月から『松江市屋外広告物条例』を施行している。景観行政団体として景観に係わる 2 つの条例を一体的に運用しながら、松江らしい良好な景観づくりを推進している。

(3) 松江市景観計画の構成

松江市景観計画は、「景観法」に基づく景観形成の方針や基準などを示すものであり、松江市全域を「景観計画区域」として定め、緩やかな規制・誘導を行うとともに、松江城周辺や宍道湖周辺など重点的に良好な景観形成を図るべき区域を「景観計画重点区域」として定め、よりきめ細かな基準により規制・誘導を図るものである。

①松江市景観計画区域

景観形成上の影響が大きい大規模な建築物や工作物等の建設行為等について、市民共有の財産である重要な景観資源に対する配慮及び周囲の景観との調和を図るために必要な措置を定め、松江市全域において良好な景観を保全、創造、継承することとしている。

②伝統美観保存区域

伝統美観は、古くからの住民生活や政治、経済、産業、文化の中で育まれてきたものであり、松江市民の誇りや愛着を育むかけがえのない財産である。また、このような景観は住む人々にとって活気と活力を与える潜在的な力となり得るものである。

「塩見縄手地区」、「普門院外濠地区」、「城山内濠地区」からなる伝統美観保存区域は、武家屋敷や小泉八雲旧居など江戸時代の伝統的な様式の建築物や堀川、城山の緑など様々な景観要素が絡み合って美しい景観を形成しているとともに落ち着きや風格を醸し出し、市民が誇りと愛着をもつ区域である。なかでも、「塩見縄手地区」は景観地区として都市計画決定し、建築物の形態意匠や高さなどについて、より強制力をもった規制を行っている。

今後も、市民や訪れる人々の心をひきつける景観形成を図り、松江固有の歴史・文化的資産として後世に継承していくよう更に取り組みを推進していく。

③宍道湖景観形成区域

宍道湖をとりまく地域固有の伝統的な人文景観、湖水と調和が図られた都市景観、及び湖面に映る美しい緑や夕日、朝霧などの自然景観が調和した、魅力的かつ後世に継承すべき宍道湖景観を保全、創造することにより、宍道湖に対する市民の誇りや愛着を深め、宍道湖周辺地域のまちづくりの向上発展に寄与することを目的として、良好な景観づくりを推進している。

④北堀町景観形成区域

城下町松江の歴史、文化や風情が息づく北堀らしい景観を守り、育み、次世代に継承する景観まちづくりを実践することにより、生活環境の充実及び観光まちづくりへの展開を図り、住民の地域に対する誇りと愛着を深めることを目的として、良好な景観づくりを推進している。

⑤清光院下景観形成区域

松江開府より積み重ねられた歴史、文化や風情が息づく清光院下らしい景観を守り、育み、次世代へ継承する景観まちづくりを実践することにより、生活環境の充実及び観光まちづくりへの展開を図り、住民の地域に対する誇りと愛着を深めることを目的として、良好な景観づくりを推進している。

⑥景観計画に追加する区域

今後も、良好な景観の「保全」・「創造」・「継承」が特に必要な区域について、住民の合意形成を図ったうえで、きめ細かな景観形成基準等を定め、景観計画重点区域に随時追加していく。

松江市景観計画の構成

松江市景観形成基本計画（序章）

松江市の景観特性や景観形成の方針、推進施策などを示すマスタープラン

松江市景観計画区域（１章）

景観形成上影響が大きい大規模な建築物や工作物の建設行為などに対し、緩やかな規制・誘導を行う区域
(松江市全域)

(景観計画重点区域)

※きめ細かな景観形成基準を設け、重点的に景観形成を図る区域

伝統美観保存区域（２章）

松江城周辺など良好な伝統的景観（伝統美観）を有する区域

宍道湖景観形成区域（３章）

宍道湖景観の保全を図るべき宍道湖周辺の区域

北堀町景観形成区域（４章）

城下町の面影や歴史的風情を保全すべき区域

清光院下景観形成区域（５章）

(歴史まちづくり課)

5. 松江市観光関係年表

松 江 観 光 関 係 年 表

時代	日 本 の 動 き	松 江 の 動 き
奈良時代	710 平安京に都を移す	733 「出雲風土記」ができる。意宇・島根・秋鹿の郡、大草・山代・野城・黒田・朝酌・生馬・法吉の郷の地名が現れる 741 出雲国分寺・国分尼寺建立 773 円通寺(竹矢)建立
平安時代	794 平安京に都を移す	825 智元上人が華蔵寺(枕木山)建立
鎌倉時代	1192 源頼朝が鎌倉幕府を開く 1333 鎌倉幕府がほろぶ	1200 佐々木高綱が善光寺(浜乃木)建立 1249 大社文書に巨曾志郷・国屋郷・長海新莊・津田郷・長江郷・乃木保・乃白保・乃白郷・比津村・忌村保・持田莊・末次保・大野莊・竹矢郷・長見本莊・枕木保などの地名と地頭名があらわれる
室町時代	1392 南北朝が統一される 1573 室町幕府が滅ぶ 1576 織田信長が安土城を築く	1345 円通寺を出雲の安国寺とする 1346 神魂神社の本殿造営 1392 京極高詮が出雲守護職となり、尼子持久が守護代として富田城に入る(1935) 1521 尼子経久、山陰・山陽11ヶ国の太守となる 1562 毛利元就、尼子氏との持久戦のため洗合城を築く 1569 山中鹿介、尼子氏再興を図り真山城にたてこもる
桃山時代・安土時代		1595 太閤検地終わる。出雲国の石高18万6000石
江戸時代	1600 関が原の合戦 1603 徳川家康が江戸幕府を開く 1614 大阪冬の陣 1615 大阪夏の陣	1600 堀尾吉晴、出雲・隠岐23万5000石の大名として富田城に入る 1607 松江城起工 1607 カラカラ橋を改架して、松江大橋と称す 1611 松江城竣工、堀尾氏富田城より松江に入る 堀尾吉晴逝去 1615 堀尾忠晴、古志堤を築く 1633 堀尾忠晴没し、堀尾氏三代33年で断絶 1633 瑞応寺を現在地に移し、円成寺と改める 1634 京極忠高、出雲・隠岐国の大名となり、松江へ入る 1635 洪水のため、斐伊川が宍道湖に流れるようになる 1637 京極忠高没し、京極氏一代3年で断絶 1638 松平直政、松本藩主から松江藩主となり隠岐も兼管 1647 城山稲荷、阿太加夜神社へ神幸、ホーランエンヤのはじまりという 1658 直政が桑名より白魚を取り寄せて、宍道湖で養殖する 1664 洞雲寺を大改修し、月照寺に改める

時代	日 本 の 動 き	松 江 の 動 き
江戸時代		1666 直政没し、綱隆襲封。直政の第二子に広瀬3万石、第三子に母里1万石を与え、支藩ができる 1668 古志原に牛馬市を開く。この年大干ばつ 1671 綱隆、楽山山荘を建てる 1673 白潟中町より出火。寺町、和田見の大半焼失 1676 白潟大火。町家89軒、寺院12など焼失 1679 倉崎権兵衛、萩より招かれ楽山焼をはじめる 1688 白潟大火。町家200軒など焼失 1689 天神川開削完成。当初は新川と称す 1702 大洪水により城下浸水。多数の民家流出 1706 8月出雲地方大風雨 10月出雲地方大地震、倒壊130軒に及ぶ 1711 石橋町より出火。石橋・奥谷・北田町が延焼。土家26軒、町家76軒、寺院1焼失 1716 外中原より出火。国屋村の月照寺等100軒焼失 1717 黒沢長尚「雲陽誌」を完成させる 1720 西川津水湾を開拓し、水田を造成 1721 出雲地方暴風雨、松江城下浸水する
	1732 享保の大飢饉	1747 松平宗衍、小田切備中による藩政改革をはじめる 1758 松江藩校文明館を母衣町に開校 1767 朝日丹波を起用して、御立派の改革実施。治郷襲封 1770 松平治郷、「むだごと」を著し、茶道改革を提唱 1772 松江大橋をはじめ、城下の土橋を板橋に改める
	1787 寛政の改革が行われる	1787 清原太兵衛、佐陀川の開削を完成 1793 天神裏で雷電一行の大相撲が行われる 1794 治郷の命により、菅田庵改築。向月亭、風呂屋完成 1801 初代長岡住右衛門が楽山焼復興 1804 小林茂重、日光より人参を持ち帰り古志原で栽培する 1806 治郷、江戸大崎で退隠し、不昧と号す 1808 西茶町から出火し、御船屋まで1200軒延焼 1813 頃 人参方を設置 1816 白潟中町より出火、124軒、土蔵2焼失 1818 不昧逝去（68歳） 1825 石橋町大火、142軒焼失。人参方を寺町に移す 1837 灘町より出火、町家751軒、寺院15、神祠1焼失 1852 横浜町より出火、町家537軒、土家700軒、寺院5焼失
	1853 ペリーが浦賀に来る	1862 松江藩が防備のため英国製鉄艦・米国製木艦を購入 1863 末次町に修兵所を設けて、洋式訓練を開始 松江藩校を統合して殿町に文武館を設立

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1868 (明元)			西園寺公望が山陰道鎮撫使として松江に来る
1871 (明4)	廃藩置県で7月に松江県となり、11月に島根県となる		
1872 (明5)	9月 新橋～横浜間 鉄道開業		
1873 (明6)		6月 松江城で勸業品展覧会を1ヶ月 開催	
1874 (明7)			7月 雑賀町大火712戸焼失 松江大橋改修
1875 (明8)		松江城、廃城を免れる。	
1877 (明10)	2月 西南の役起こ る	この頃から大橋川・宍道湖に汽船登場 尾野友市、乃木皇子坂に素焼窯を開く (袖師焼の祖)	
1880 (明13)		5月 県勸業展覧場を現博物館付近に 建設	
1886 (明19)		茶町の坂田平一、絵師富田湖山らの協力 で八雲塗を完成	
1889 (明22)			4月 松江市政施行 (人口約36,000人、全国22位) 勸業展覧場を借り市役所開設
1890 (明23)		8月 ラフカディオ・ハーン来松 松江城、内務省から松平家に返還	
1891 (明24)			3月 釣橋型大橋竣工
1893 (明26)			5月 殿町市庁舎竣工 10月 台風襲来6,649戸浸水
1894 (明27)		11月 ラフカディオ・ハーン離松 3月 歌舞伎座の栄徳座が天満宮内で 開業	
	8月 日清戦争勃発	ラフカディオ・ハーン「知られぬ 日本の 面影」出版	
1895 (明28)		山陰汽船(株)創設、松江～大阪航路開く	
1896 (明29)		2月 ラフカディオ・ハーン日本に帰 化、小泉八雲と改名	4月 松江電灯(株)設立、点灯数約250
1898 (明31)		10月 楽山神社を移し松江神社建立	
1901 (明34)			12月 松江記章を定める
1903 (明36)	山陽線全通	9月 城山に興雲閣落成	
1904 (明37)	2月 日露戦争始ま る		
1905 (明38)			2月 和田見大火、焼失160戸、半焼 26戸
1908 (明41)		11月 米子～松江間鉄道開通、松江駅 開業	
1909 (明42)	8月 韓国併合	11月 松江～宍道間鉄道開通	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1910 (明43)	明治天皇崩御	5月 松江開府300年祭を挙行	3月 旧松江大橋開通
1911 (明44)			
1912 (明45)		3月 山陰線出雲今市～京都間開通	
		4月 一畑軽便鉄道(株)創立	
	8月 第一次世界大戦始まる	6月 山陰線開通記念の物産共進会開催	6月 白潟埋立地完成 7月 初代新大橋（木製）架設
1913 (大2)		4月 一畑軽便鉄道今市～平田間開通	
1914 (大3)		6月 志賀直哉、里美弴松江に遊ぶ	
		大正天皇御大祭を契機に鑿（どう）行列が本格的になる。	
1915 (大4)	8月 米騒動	5月 駅通りに松江座落成	6月 陰陽連絡の自動車道供用開始
		8月 芥川龍之介松江に遊ぶ	
1918 (大7)		8月 源助供養始まる	
1919 (大8)			
1920 (大9)	第1回国勢調査 (人口約7,698万人)		10月 公設市場を堅町・母衣町に開設
1921 (大10)		菊池寛・久米正雄・吉井勇ら松江へ	11月 松江図書館を市営に
		5月 有島武郎・秋田雨雀ら山陰に遊ぶ	
1922 (大11)	9月 関東大震災		9月 末次埋立第2次工事完了
1923 (大12)			
1924 (大13)		4月 山陰線全線開通祝賀式	
		4月 全国土産品展覧会開催	
1927 (昭2)	3月 金融恐慌	10月 松平直政公銅像除幕式	12月 灘町大火、236戸焼失
		12月 松平家より、城山を松江市に、三の丸を県に寄付	
1928 (昭3)		2月 菅田庵史跡及び名勝指定	
		4月 一畑電鉄開通、北松江駅竣工	
	世界恐慌起こる	7月 松江城山を城山公園と名づける	4月 市営バス事業を開始
1929 (昭4)			
		10月 松江競馬場開場	
		八雲会結成（八雲25日忌）	
1930 (昭5)	満州事変起こる	5月 与謝野鉄幹・晶子松江へ	5月 末次本町他6町で大火、628戸焼失
1931 (昭6)		4月 商工祭始まる（後のお城まつり）	
		8月 松江観光協会発足	
1932 (昭7)		10月 第1回松江祭挙行	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1933 (昭8)		4月 隠岐丸初めて松江港に入港 7月 松江～城崎間定期航空開始 11月 小泉八雲記念館竣工	3月 床机山に松江放送局開局 11月 新大橋通り完成 4月 市公会堂竣工 10月 新大橋竣工 12月 津田村を合併
1934 (昭9)			
1936 (昭11)		4月 松江～大阪間定期航空開始	
1937 (昭12)	蘆溝橋事件(日中戦争)勃発	10月 松江護国神社建立	4月 中原大火、252戸焼失 10月 松江大橋竣工 2月 川津村合併
1938 (昭13)			
1939 (昭14)	第二次世界大戦勃発	10月 大橋南詰に源助・深田技師供養碑建立	
1940 (昭15)	太平洋戦争始まる	4月 市立観光案内所開設	
1941 (昭16)		8月 小泉八雲旧居史跡指定	11月 朝酌村合併 10月 松江市誌発刊
1943 (昭18)		11月 直政・若槻・岸銅像供出	
1944 (昭19)			8月 豪雨のため浸水家屋789戸 7月 家屋疎開で市庁舎こわす
1945 (昭20)	8月 ポツダム宣言受諾		
1946 (昭21)	日本国憲法ができる	4月 忌部開拓に開拓団入植	8月 県庁焼き打ち 4月 市立図書館県に移管
1948 (昭23)		5月 ホーランエンヤ復活 9月 貿易と観光博覧会開催	
1949 (昭24)		7月 12年ぶりの水郷祭	10月 法吉村合併 6月 国立島根大学創立
1950 (昭25)	朝鮮戦争始まる	5月 第1回松江競輪を開催(28年廃止) 6月 へるん生誕100年祭開催 6月 松江城天守閣の解体修理始まる	8月 白濁大火、焼失222戸 9月 乃木村・竹矢村合併
1951 (昭26)	日米安全保障条約調印	3月 松江市国際文化観光都市建設法公布 4月 ホーランエンヤ(陸渡御) 6月 松江市観光文化課が観光課に 6月 松江市文化財保護条例制定 10月 棟方志功松江へ	4月 大庭村・忌部村合併
1952 (昭27)			11月 松江市教育委員会発足
1953 (昭28)			4月 生馬村・持田村合併
1955 (昭30)		3月 松江城天守閣復元工事完成・お城まつり始まる 8月 古代出雲文化総合調査(出雲国分寺跡発見)	3月 古江村・本庄村合併

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1956 (昭31)			12月 県庁舎全焼
1957 (昭32)		10月 松江開府350周年祭	7月 松江～玉造有料道路開通
1958 (昭33)	関門海底トンネル開通		1月 県庁舎完成、一畑百貨店開店
1959 (昭34)	4月 皇太子明仁親王御成婚	10月 県立博物館開館 松江城多聞櫓竣工	10月 枕木山NHKテレビ放送開始
1960 (昭35)			11月 市制70周年
1961 (昭36)		6月 松江ゴルフ場完成	8月 大野村・秋鹿村合併 6月 市庁舎竣工 中海干拓工事着工
1962 (昭37)		8月 天倫寺温泉源発見 12月 湖北区画整理事業着工	
1963 (昭38)		4月 隠岐・島根半島・三瓶山が大山国立公園に編入 4月 宍道湖・北山県立自然公園指定	山陰地方豪雪（宍道湖凍結） 3月 斎藤市長就任
1964 (昭39)	11月 米・ケネディ大統領暗殺		1月 馬淵鉄工団地埋め立て完了 4月 国立松江高専開校 7月 集中豪雨来襲
	10月 東海道新幹線営業開始 10月 東京オリンピック開幕		
1965 (昭40)		5月 直政300回忌天倫寺で挙行	12月 市議会、再建準備団体指定可決
1966 (昭41)		明々庵復元	11月 市民憲章制定 12月 松江・八束広域行政組合推進協議会発足
1967 (昭42)			7月 松江刑務所、西川津へ移転
1968 (昭43)		8月 宝塚市と姉妹都市提携 安部榮四郎氏人間国宝指定	11月 中海地区新産業都市に指定 5月 長江干拓干陸式
		11月 湖北区画整理事業（旅館団地）完成	9月 県民会館落成 10月 県立図書館落成
1969 (昭44)		1月 武家屋敷滝川家より買収 3月 松江郷土民謡館開設（観光協会） 5月 ホーランエンヤ	6月 青年センター完成

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1969 (昭44)	7月 米宇宙船アポロ11号月面着陸	7月 大手前駐車場完成 9月 武家屋敷復元完成	11月 市政80周年記念式典
1970 (昭45)	3月 万国博覧会開幕	12月 木幡家住宅重要文化財指定 9月 堀川浄化第1回水入れ替えテスト実施 11月 足立美術館開館 11月 松江市観光開発公社設立 (大手前、武家屋敷を受託、民謡館を継承)	7月 松江地域広域市町村圏指定 7月 県立武道館落成
1971 (昭46)	沖縄返還協定調印	11月 松江温泉源掘削 11月 松江国際文化観光都市建設法制定20周年記念式典	2月 記録的豪雪 4月 枕木有料道路開通
1972 (昭47)	2月 札幌オリンピック開幕 3月 山陽新幹線大阪～岡山開通	3月 松江のキャッチフレーズ「橋といで湯の城下町」に決定 5月 七類から「くにが」就航 5月 連休、松江に20万人 山陰ブーム到来（年間450万人で過去最高） 9月 八雲立つ風土記の丘資料館開館 12月 温泉供給開始、お湯かけ地蔵建立 4月 伝統美観保存条例制定・八雲記念館公社へ委託 4月 松江観光パトロールカー登場	3月 財政再建準用団体指定解除 4月 松江卸団地完成 7月 宍道湖有料大橋完成 7月 80年ぶりの大水害 12月 津田街道改修工事完成
1973 (昭48)	6月 第1次オイルショック	8月 志谷奥遺跡発見 9月 塩見縄手地区を伝統美観地区に指定1,500万円で堀整備 11月 松江郷土館開設	7月 34年ぶりの干ばつ
1974 (昭49)		8月 第1回松江温泉お湯かけ地蔵まつり開催 9月 小泉八雲没70年祭開催	

年次	社会の動き	松江の動き	
		観光関係	その他
1974 (昭49)		10月 出雲玉作史跡公園オープン	
		11月 松江市緑地及び自然環境の保全に関する条例制定	
1975 (昭50)	沖縄海洋博開幕	1月 普門院、外濠地区を伝統美観地区に指定	
		3月 松江郷土民謡館移転開設	4月 松江市住居表示整備事業着手
		5月 普門院山門、土堀復元工事完成	7月 内陸工業団地造成完了
	10月 中国縦貫道吹田・落合開通、新幹線博多まで開通		
1976 (昭51)			1月 市の木、市の花シンボルマーク制定
		4月 城山公園公社へ委託	1月 嫁島土地区画整理事業完成
		5月 佐陀神能重要無形民族文化財指定	
		8月 松江だんだんスタート	
		8月 湖水導入、堀川浄化スタート	
		11月 観光タクシー発足	10月 総合体育館完成
1977 (昭52)		3月 出雲玉造資料館完成	2月 国鉄高架運転開始
		3月 玉造跡重要文化財指定	
		7月 忌部自然休養村完成	5月 湖北農道(松江・平田)完成
1978 (昭53)	5月 新東京国際空港(成田)開港	秋鹿大餅さん復興	10月 中村市長就任
		12月 高架下に観光案内所移転	10月 スポーツ都市宣言
1979 (昭54)		1月 民謡館を松江名産センターへ公社より譲渡	
	6月 東京サミット開催	7月 武家屋敷内に休憩所開設	7月 島根国体(昭57)正式決定
			8月 出雲～東京航空便就航
			10月 松江～東松江複線化開通
1980 (昭55)	神戸ポートピア	11月 田部美術館開設	11月 市政90周年記念式典
		八雲誕生130年記念式典	9月 大海崎～大根島堤防開通
			10月 市庁舎別館竣工
1981 (昭56)			11月 出雲～東京便ジェット機就航
			4月 海洋センター開設
			4月 下水道一部供用開始
		5月 松江駅前再開発事業完成・ピノ開店松江城天守閣修理	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1981 (昭56)			7月 くにびき大橋開通 8月 県道松江～加賀線開通
1982 (昭57)		11月 美保神社重要文化財指定 2月 佐陀神社重要文化財指定 3月 嫁ヶ島護岸工事完成 5月 直政公ミニチュア完成	4月 国道431・432号線昇格 6月 第3次松江市総合計画策定 8月 県道上乃木・菅田線、市道嫁島公園線開通 9月 くにびき国体夏季大会開催 10月 湖南大型農道開通
	6月 東北新幹線開通	9月 松江駅コンコース内に観光案内所開設	
	11月 上越新幹線開通	11月 レークガーデン廃止	
1983 (昭58)	3月 中国縦貫道全線開通 石見西部大水害	3月 武家屋敷大改修完成 10月 小泉八雲旧居大修理完成 10月 松江城登閣料を入場料に変更	9月 64年全国菓子博覧会開催決定
1984 (昭59)		3月 NHK「日本の面影」放送 4月 小泉八雲記念館改築、八雲80年忌 7月 興山荘美術館開設	12月 出雲～福岡航空便就航 3月 テレトピアモデル都市指定 4月 総合福祉センター竣工
	7月 荒神谷遺跡から銅剣358本出土	9月 第1回八雲忌全国俳句大会 9月 嵩山登山歩道・駐車場・あずまや完成	
1985 (昭60)	科学万博つくば'85開幕	3月 塩見縄手無電柱化事業完成 5月 ホーランエンヤ16年ぶりに挙行 8月 松江観光タクシー協議会設立 9月 松江文化観光施設懇談会設立 11月 小波キャンプ場管理棟完成	10月 国勢調査で人口14万人突破 5月 総合文化センター開館 7月 東工業団地造成工事着工
1986 (昭61)	国鉄民営化	5月 松江観光協会、全国京都会議に加盟 5月 菟古館完成 7月 松江観光協会、堀川ボート実施 8月 「松江の旅」・「松江・文学への旅」出版（協会・会議所） 8月 山陰路観光キャンペーン事業実施 11月 松江市観光善意通訳制度発足	12月 松江キャプテンサービス開始

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1987 (昭62)		2月 松江観光協会、坂出市観光協会と縁組み 7月 山陰路観光キャンペーン、パートⅡ実施 8月 松江・宝塚姉妹都市20周年記念事業 8月 再生された松江水郷祭の実施、宍道湖遊覧船の就航 10月 歴史民族資料館開館 10月 シルバー観光ガイド制度発足 10月 松江・出雲国際観光モデル地区に指定される(初代会長松江市長) 12月 武家屋敷長屋門・土塀・庭園整備工事完成	8月 松江日本語・日本文化夏季講座開催
1988 (昭63)	3月 青函トンネル開業 4月 瀬戸大橋開通 5月 イラン・イラク戦争停戦 9月 ソウル五輪 10月 昭和天皇ご病氣(イベント式典の自粛相次ぐ)	1月 武家屋敷長屋門復元工事完了一般公開 2月 パーキングマップ発行(商工会議所) 3月 島根原子力館オープン 3月 八雲の書簡他購入(松江市) 3月 英文観光ガイドブック「ALONG THE SANIN」出版 4月 宍道湖北岸に湖畔照明完成 4月 グッドウィルガイドにホームステイ部会発足 5月 三笠宮ご夫妻山陰路に 6月 松江ホテル旅館連絡協議会発足 7月 第1回忌部高原まつり開催 8月 旧松江藩松平家14代当主松平直國氏死去 9月 京橋改修 9月 松平直政公入府350年記念展開催(松江郷土館) 10月 小泉八雲旧居当主、根岸啓二氏死去 11月 蓼行列中止 11月 松江L.C堀川へ錦鯉放流(1000匹) 11月 神魂神社36年ぶりの遷宮 12月 東京大学より松江市に八雲愛用の本箱寄贈 12月 J.R松江駅前タクシーシェルター完成 12月 出雲・松江～東京高速バス運行開始	6月 テレコムプラザ松江設立 7月 松江市斎場竣工(大庭町) 8月 松江市農業協同組合誕生 11月 上乃木菅田線檜山トンネル開通

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1989 (平元)	昭和天皇崩御 4月 消費税スタート 6月 中国、天安門事件 10月 東西ドイツの統一	3月 京店水鳥公園オープン 4月 市制百周年記念式典 4月 市制百周年宮行列 4月 市制百周年鑿行列 4月 第21回全国菓子大博覧会 5月 大相撲松江市長賞（シジミ1t）提供開始 5月 松江市観光基本計画答申 6月 観光ビデオ「さらば英語教師」完成 7月 旧出雲街道沿線市町村連絡協議会発足（津山市）	4月 百周年記念「松江市誌」発刊 10月 石倉孝昭第10代市長に就任
1990 (平2)	4月 国際花と緑の博覧会開幕（大阪） 6月 礼宮ご結婚、紀子さまブーム 湾岸戦争	1月 松江ライオンズ内堀浄化実験 2月 第1回ふるさとウォッチング実施（市立女子高） 3月 松江城天守閣ライトアップ開始 3月 城山公園「さくら名所百選」に選定 3月 小泉八雲来日百年記念事業実行委員会発足 4月 観光タクシー研究会発足 7月 松江城天守防災設備完成 8月 小泉八雲来日百年記念特別展 8月 小泉八雲来日百年記念式典 8月 小泉八雲胸像除幕式 8月 小泉八雲シンポジウム・国際比較文学会等	4月 鳥取市に住基台帳人口抜かれる 6月 斎藤強氏市民葬 6月 松江堀川「ふるさとの川モデル事業」整備計画決定 7月 松江日本語日本文化夏季講座 8月 宍道湖北岸浸水護岸工事完成 10月 アマサギ不漁 10月 モロゲエビ豊漁 11月 シラウオ不漁 11月 梅謙次郎顕彰碑除幕式 2月 若槻礼次郎元首相誕生地石碑建立除幕式 2月 工科系大学設置促進期成同盟発足 3月 国道9号松江道路開通 3月 川津幼稚園竣工式
1991 (平3)	2月 東京都新庁舎完成	4月 マリンゲート島根完成 4月 マリンハウス加賀完成	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1991 (平3)	5月 長崎県雲仙・普賢岳噴火		5月 協同組合松江流通センター創立総会 6月 中国横断自動車尾道松江線建設促進期成同盟会総会 7月 プラバ住民票サービスコーナー設置
	9月 台風19号島根県を直撃	10月 出雲路広域観光連絡協議会設立総会(4市14町1村) 10月 松江国際文化観光都市建設法制定40周年記念式展	11月 市営白潟駐車場竣工 11月 日本文化デザイン会議 '91島根開催 11月 S T I C (生涯学習センター・テレコムプラザ松江) オープン 12月 第4次松江市総合計画策定
	12月 ソ連邦解体		
		4月 観光施設入場料改定 4月 出雲街道飛脚便訪問(津山から)	5月 乃木小学校竣工 5月 汽水湖研究センター設置 5月 松江市国際交流会館オープン記念式典 6月 川津公民館竣工
1992 (平4)	9月 毛利衛さんスペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ	10月 松江ふるさと物産館(東京中央郵便局)	10月 在宅福祉サービスセンターデイホームちどりオープン 10月 第5回全国スポーツレクリエーション祭
1993 (平5)	1月 釧路沖地震(震度6)	1月 松江・味クエスト松江グルメ祭 4月 隠岐航路レインボー就航 4月 ふるさと森林公園オープン	1月 堀川浄化を考えるフォーラム 3月 国道9号線バイパス東津田工区開通 4月 湖東中学校開校
	6月 皇太子徳仁親王御成婚	10月 しまねExpo '93開催	7月 北海道南西沖地震 10月 国道431号線川津バイパス開通 10月 くにびきメッセオープン 10月 宮岡寿雄11代市長に就任

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1994 (平6)	9月 関西国際空港 開港	4月 観光課2係体制設置 4月 中国牡丹園オープン 5月 「釣りバカ日誌」ロケ(～6月) 7月 松江・隠岐・島根半島周辺観光 連絡協議会発足 8月 宍道湖・松江堀川・水と緑の フェスティバル 10月 国際会議観光都市に指定 11月 新泉源掘削事業開始	1月 松江温泉バスターミナル周辺緑 化事業完成 3月 千鳥橋架け替え 3月 ニューオリンズ市と友好都市提 携 4月 湖北中学校開校 4月 かんべの里開館 5月 第13回「全国城下町シンポジウ ム」 8月 松江商工会議所創立百周年記念 事業 9月 全国レクリエーション大会島根 大会 10月 ワカサギ不漁 11月 北惣門橋架け替え 11月 シラウオ不漁 12月 スーパーやくも運行
1995 (平7)	1月 阪神・淡路大 震災 3月 地下鉄サリン 事件	8月 ぐるっと松江レイクライン運行 開始 8月 「バスガイド愛子」ロケ 11月 松江温泉新泉源湧出	1月 大橋川北岸に柳並木が復活 2月 アイルランド大統領が来松 4月 白潟小学校と朝日小学校を統合 し、中央小学校開校 8月 中学生海外派遣交流事業 (アメリカ・ニューオリンズ市) 10月 第8回全国健康福祉際島根大会開 催 10月 市政広報誌「グラフまつえ」創 刊
1996 (平8)	7月 O-157大量 感染 7月 出雲ー札幌便 就航 10月 加茂町の加茂 岩倉遺跡大量の 銅鐸発見	3月 メテオプラザオープン 4月 来待ストーン完成 7月 ぐるっと松江レイクライン3台目 増車 7月 第1回天平古道スタンプラリー 開催 11月 藝行列・時代行列開催	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1997 (平9)	3月 中国・四国横断自動車道全線開通 4月 消費税5%に 4月 出雲～沖縄便就航 7月 中国、香港返還	4月 ぐるっと松江レイクライン4台目増車 4月 パーク&ライドシステム導入（くにびき駐車場、城山西駐車場） 4月 ‘97食博覧会・大阪に出展 5月 大河ドラマ「毛利元就」展開催 5月 松江城山稲荷神社式年神幸祭（ホーランエンヤ）開催 5月 第5回地域伝統芸能全国フェスティバル開催 5月 旅フェア ‘97に出展 6月 市内観光専用ホームページ開設 7月 大庭空山展望台完成 7月 古代出雲文化展開催・風土記の丘周遊バス運行 7月 山陰・夢みなと博覧会開催 7月 ぐるっと松江堀川めぐり就航 7月 お化けに親しむ夏の一夜開催 8月 神話の国めぐりツアー開催 8月 語りの夜なべ松江開催 8月 毛利元就歴史紀行展開催 9月 組み立て式鼈太鼓完成 10月 尼子浪漫バス運行 10月 名月と邦楽のタペ開催 11月 茶処松江庭園とお茶席めぐりバス運行 11月 堀川遊覧船にこたつ舟登場 11月 新・市内観光パンフレット「水の都」作成 11月 グリーンステラ完成 12月 松江市長が初めて観光トップセールスを行なう 12月 見たい、食べたい、ふれあいたい山陰・松江・夢三昧（京都）に共催	2月 松江市文化協会発足 2月 市営バス南北循環線、南北直通路線運行開始 4月 松江市東京事務所が独立 4月 カラコロ広場オープン1周年記念イベント開催 5月 松江市・宝塚市姉妹都市提携30周年記念式典 6月 天平古道スタンプラリー実施 7月 松江南消防署完成 9月 ノンステップバス導入 9月 松江ファミリーサポートセンター活動開始 9月 小泉八雲の幼少期の勉強机が寄贈される 10月 情報公開窓口の設置 10月 国際交流フェア開催 10月 ニューオリンズジャズバンド来松 10月 宍道湖でシジミ大量死 11月 名誉市民平塚運一氏死去 11月 ワールドインポートフェア開催 12月 松江－米子空港直行バス運行開始 12月 市庁内16課に英語標記導入

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1998 (平10)	2月 米子道路・安来道路開通 4月 明石海峡大橋開通	1月 宍道湖七珍料理コンテスト開催 1月 '98島根ふるさとフェアに出展 1月 運輸省の観光地づくりモデル事業・モデル地区に松江市が指定される 2月 四国地区への観光キャラバンに初めてレイクラインを利用して訪問する 3月 嫁ヶ島黒松（それぞれ樹齢80年・150年以上）伐採 4月 松江市交通観光振興公社設立 5月 矢田観光船就航 5月 堀川遊覧船乗客数10万人達成 5月 松江観光協会会長に初めて民間から皆美健夫商工会議所会頭が選ばれる 6月 第1回松江地域観光地づくり推進協議会が開かれる 6月 時代劇「隠密奉行朝比奈」の山陰ロケが行われる 7月 堀に山口県宇部市より譲り受けた白鳥が放たれる 7月 隠岐汽船高速船「レインボー2」就航 7月 松江夜景～夏の夜のにぎわい開催 7月 堀川遊覧船就航1周年、乗客数13万人を記録、屋根付き船登場 7月 お化けに親しむ夏の一夜開催 7月 松江観光協会が観光プロデューサーを全国公募する 7月 マリンプラザしまね完成 8月 ぐるっと松江レイクラインが運行3周年を迎え、乗客43万人を突破する 9月 松江市観光地樹木保護委員会発足	1月 平塚運一追悼展開催 1月 これでいいのか古都松江シンポジウム開催 2月 「玄丹そば」登場 2月 松江市デザイン委員会設立 3月 第1回松江市民文化展開催 3月 市営バス、一畑バス、日の丸バス共通バスカード発行 島根県の平成9年の観光客数が過去最多の2千80万人を記録する 4月 山代二子塚古墳に「ガイダンス山代の郷」開館 4月 JR木次線トロッコ列車運転開始 5月 千手院しだれ桜が松江市文化財に指定される 6月 イギリスのBBCスタッフが小泉八雲の特集番組作りのため松江市を訪れ取材 6月 松江ー広島高速バス直行便が2往復増便となる 7月 風土記の丘整備基本計画策定委員会設立 8月 松江市立病院建設地から出土した田和山遺跡の現状保存をめぐり、学識者らが「田和山遺跡を考える会」を設立 8月 高速船レインボーの乗客100万人達成 9月 松江市文化観光施設誘致条例が松江市議会で可決される

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1998 (平10)		9月 「八雲立つ風土記の丘ガイドの会」が結成される 9月 山村美紗サスペンス「京都・出雲殺人事件」のロケが行われる 9月 「語りの夜なべ松江」開催 10月 松江城本丸フェスティバル開催 10月 尼子浪漫バス運行 10月 ぐるっと松江レイクライン乗客50万人達成 11月 松江市観光ボランティアガイドが33名のメンバーで活動を開始する 11月 「松江・出雲国際観光モデル地区推進協議会」が、島根・鳥取・岡山・香川・高知が外国人観光客誘致のための広域観光ルートとして国から指定されたことを受け、「松江・出雲国際観光テーマ地区推進協議会」となる	9月 松江市観光案内所で英語ガイドの出来る職員を常駐させる 9月 松江市交通局が新型観光バスを導入 10月 松江温泉駅と出雲大社駅を直通で結ぶ「出雲大社号」が運行開始 10月 ニューオリンズより5作家が来松し、交流工芸展が開催される 10月 市在住外国人懇談会が開催される 11月 宍道湖畔環境整備計画を前に島根県が県民参加型のワークショップを実施 11月 第1回三都市（松江・高松・倉敷）交流音楽祭開催 11月 韓国・晋州市物産展開催 12月 ショッピングバス運行開始
1999 (平11)	4月 とっとり花回廊オープン	1月 松江観光協会・観光プロデューサーに永井努氏が就任 1月 松江・出雲パーフェクトチケットが発売開始 2月 高松へ観光キャラバンを派遣 2月 「こいまち」ロケ行われる 2月 松江市で高松との物産と観光展が行われる 2月 堀川遊覧船が「毎日・地方自治大賞最優秀賞」に選ばれる 3月 堀川遊覧船の写真入りエコはがきが発売される 3月 島根県立美術館開館 3月 堀川遊覧船が31日現在で乗客20万人を突破 3月 日本観光協会、松江市観光ガイドブックを発行 4月 秋鹿なぎさ公園オープン 松江・堀川地ビール館オープン 5月 県立美術館にて日展開催 観光文化課のホームページに「松江百景」開設 6月 山陰路観光キャンペーン推進協議会、初の両県観光マップ作成 7月 お化けに親しむ夏の一夜開催 堀川遊覧船、夕涼み船登場 堀川遊覧船40万人突破	1月 松江市交通局・一畑電鉄が、米子ー多伎広域周遊券を発売 1月 ニューオリンズジャズ in 松江開催 1月 時差通勤実験実施 2月 地域振興券を配布 2月 「オムニバスタウン」に指定される 3月 市制110周年記念郷土作家展開催 5月 まほろばガイドの会、風土記の丘周辺案内パンフ作成 6月 松江市のHPで市長の記者会見などが掲載されるようになる 7月 北公園ミニ遊園地オープン 天神町ふれあいプラザ・交流館オープン

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
1999 (平11)	8月 国旗国家法が成立トルコ大地震 (M7.8)	7月 天守閣の入場時間延長	宍道湖のシジミ激減 (過去10年間で最低に)
		8月 おかげ天神除幕	
		9月 松江観光協会おもてなしの心月間 まちあるきツアー開始	9月 第1回市民文化大学入学式 美術コース・音楽コース 松江八東広域行政研究協議会発足
		9月 観光ボランティアガイド養成講座始まる	
		10月 松江観光協会、松江得々パスポートを発行 堀川遊覧船50万人突破 国際観光シンポジウム (主催：日本観光協会・国際観光振興会) 開催	10月 環境フェスティバル開催 松江都市デザインフォーラム開催 中国郵政局が松江市制110周年を記念して、島根県の風景画の絵入りはがきを発売
		堀川遊覧船、月間乗船客初の45,000人台	
		11月 南櫓124年ぶりに復元完成 カラコロ広場にツリーのイルミネーション登場	11月 ニューオリンズジャズ来松 吉林市歌舞団公演 全国マルチメディア祭開催
		11月 堀川ふれあい広場トイレ、日本トイレ協会が制定する「グッドトイレ10選」に入賞 観光シンポジウム「おもてなしの心・松江」開催 (松江観光協会主催)	市制110周年記念写真集
	12月 中国、ポルトガル領マカオ返還	12月 県立美術館50万人突破	11月 松江市制110周年記念式典 吉林市、晋州市と友好都市提携 文学ルート形成推進協議会設立 玄丹そばが市内各店のメニューに加わる 「OECD都市政策セミナー」松江で開催
2000 (平12)		1月 松江城天守閣にて初日の出イベント実施	1月 広域行政組合が「四季の花暦」を発行
		1月 レイクラインで七福神初詣コース実施	
		1月 正月三が日の観光客前年に比べ6割増になる	
		1月 ハッピーマンデー効果で三連休の観光客が前年に比べ2.3倍になる	
		2月 堀川遊覧船乗船者に防寒用のベストの貸し出しサービスが始まる	2月 島根景観大賞に、県立美術館、岸公園が選ばれる
		2月 「観光ワーキングセミナー」(日本観光協会主催) 始まる	市民ロビーで、吉林市、晋州市のパネル展を実施
		2月 観光情報発信用のCD「水の都」発行	晋州市に交流団を送り、松江市展を開催
		3月 「都市観光サミット」開催	3月 「松江フォーゲルパーク」着工
	3月 北海道の有珠山噴火	3月 サインシステム事業(市内43ヶ所への観光案内板の設置)が完了	松江市民文化大学1期生卒業

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2000 (平12)	6月 韓国・北朝鮮 の南北首脳会談 9月 東海豪雨三宅 島噴火続く(全 島避難) 10月 鳥取県西部地 震	5月 松江・隠岐ふるさと観光物産展 (東京・新宿郵便局)	4月 松江駅前地下駐車場供用開始 介護保険制度スタート カラコロ工房オープン 「松江テルサ」オープン 5月 宮岡寿雄市長急逝 6月 松江駅前広場完成 6月 松浦正敬第12代松江市長に就任 9月 国が中海干拓本庄工区の中止を 決定 11月 国勢調査速報値で人口15万人突 破(山陰の都市で初)
		12月 位置情報システムを活用した観 光情報提供システム(ハンディナ ビ)実験	
2001 (平13)	1月 21世紀の開幕 を迎える小泉純 一郎内閣発足 3月 U S J オープ ン	1月 「松平不昧公展」開催 (東京松屋銀座本店) 1月 松江市テーマ型観光推進協議会 の発足 3月 武家屋敷にろう人形を設置 3月 三次元映像のバーチャルリアリ ティー松江観光情報CD-ROM 「知られざる日本の面影」の作成 3月 松江城3櫓完成、ライトアップ開 始 4月 二の丸櫓茶会を開催 4月 「生誕250周年大名茶人松平不昧 公展」と関連行事開催(県立美術 館) 4月 松江ウォーターヴィレッジのル イス・C. ティファニー庭園美術 館とイングリッシュガーデンがオ ープン 6月 堀川遊覧船乗船客100万人達成 7月 松江フォーゲルパークがオープ ン 8月 観光ループバス「レイクライ ン」乗客100万人達成 9月 映画「白い船」松江ロケ 9月 きまち湯治村「大森の湯」オー プン	3月 山陰道[安来～宍道] 開通 3月 交通局新局舎とバスターミナル 完成 3月 第5次松江市総合計画策定 7月 J R 山陰線高速運転スタート 8月 田和山遺跡が国の史跡に正式指 定
		9月 東京ディズニーシーオープン 9月 米同時多発テ ロが起きる	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2001 (平13)		10月 国際文化観光都市50周年で記念式典 10月 JR松江駅正面に松江国際観光案内所オープン 10月 観光交通案内システム「たびねっと松江」運用開始 10月 松江フィルムコミッション協議会が発足 11月 「まちあかり松江城散策路・夜間開園2001」のライトアップ実施 11月 松江温泉の新名称が「松江しんじ湖温泉」に決定 (年間観光入込み客数500万人突破)	10月 ソフトビジネスパーク島根オープン 12月 松江温泉駅新駅舎完成 12月 プラバホール、クリスマスイミネーションが点灯
2002 (平14)	2月 冬季オリンピック(ソルトレークシティ) 5月 FIFAワールドカップ(韓国・日本) 8月 住民基本台帳ネットワーク運用開始	1月 松江フォーゲルパークで「オウム病」発生 3月 松江フォーゲルパーク、花の施設(センターハウス・水鳥池)を再オープン 3月 松江国際観光案内所内に茶室「去来庵」完成 4月 「松江・出雲・隠岐グルメ街道殺人紀行」撮影 5月 松江フォーゲルパーク、一部島の施設を除き全面開放 5月 映画「白い船」山陰両県で先行上映 6月 松江フィルムコミッション協議会のPRコーナーを商工会議所のHPに開設 7月 松江フォーゲルパーク1周年記念イベント 7月 堀川遊覧船5周年記念 8月 映画「白い船」の歌碑完成	3月 エコショップまつえオープン 3月 松江テルサにからくり時計お目見え 4月 カラコロ通り完成記念イベント 4月 大橋川コミュニティーセンターオープン 5月 松江・八束合併推進協議会設立 5月 まつえ市民環境大学開校 5月 第23回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)開幕 5月 松浦市長が中華人民共和国へ公式訪問(銀川、杭州市) 7月 出雲～東京便が通年で一日5往復化 7月 カラコロFM局が開局 7月 松江市メールマガジン創刊 7月 宍道湖大橋4車線化拡幅工事が終了、供用開始 8月 市営バスのキャラクターマーク決定

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2002 (平14)	10月 ノーベル賞W 受賞	9月 堀川遊覧／花嫁・花婿船が運航	9月 川向リサイクルプラザ（竹矢町）完成
		9月 山陰路観光キャンペーン「全国宣伝販売促進会議」開催	
		9月 宍道湖エコクルーズ運航	
		10月 松江地区観光客誘致推進協議会発足	10月 松浦市長、ドイツ、フランスを訪問
			10月 松浦市長、イングリッシュガーデンを視察
			10月 松江市産業交流団訪中（H14年度ミニLL事業・杭州市）
			10月 出雲・松江～京都間高速バス「出雲阿國号」運行開始
			10月 日英グリーン同盟2002記念植樹
		11月 SL運行（山陰鉄道発祥100周年記念事業）	11月 和久羅山登山道入口駐車場完成
		11月 神在月ツーデーウォーク実行委員会設立	11月 松江・八束合併協議会設置
			12月 市役所総合窓口センター設置
		12月 東北新幹線・盛岡～八戸区間開通	12月 山陰道松江西ランプと国道9号とを直結する県道松江木次線が開通
2003 (平15)	2月 新型肺炎（SARS）が世界的に流行		12月 県道三刀屋木次インター線の開通式
			1月 中国・杭州市交流団来松
		2月 レイクラインの貸切運行開始	1月 バス優先システム導入
		2月 “椿咲く古都の冬まつり”「まつえ暖談食フェスタ」開幕	2月 元禄の絵図発見（市内の民家）
		3月 松江大橋ライトアップ点灯式	3月 「光のマスタープラン」策定
		3月 「第1回神在月ツーデーウォーク」PR大会開催	3月 「松江市男女共同参画推進条例」制定・施行
			3月 松江第五大橋道路、都市計画道路路城山北公園線が都市計画決定
		4月 （社）日本観光協会主催の第10回「優秀観光地づくり賞」にて、全国初の「金賞国土交通大臣賞」と「国際観光賞」をダブル受賞	4月 「松江市ニュースポーツ公園」完成
			4月 「松江しんじ湖温泉駅」に新しいバスターミナル、足湯が完成
			4月 ティファニー庭園美術館において「パリス・サロン」が完成
			5月 天神町商店街の街路灯が（社）照明学会の「平成14年度照明普及賞（優秀施設賞）」受賞
		5月 個人情報保護法が成立	6月 老舗旅館「大橋館」がJTBの2002年度「サービス最優秀旅館ホテル賞」を受賞
		6月 忌部自然休養村にて、「菜種まつり」開催	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2005 (平17)		4月 観光文化プロデューサーに高橋一清氏就任 4月 マリンパーク多古鼻完成 4月 第1回玉造アートフェスティバル開催 5月 出雲路広域観光連絡協議会を解散し「神話の国縁結び観光協会」を設立 6月 観光振興部を新設 6月 中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会発足 7月 松江市・中国杭州市旅行社商談会開催	3月 松江八束8市町村が合併。新松江市誕生 7月 異常気象～11年ぶりの渇水被害から一転、局部的豪雨災害の発生 7月 高速船レインボー加賀航路廃止
	8月 宮城県沖地震発生	9月 訪日団体旅行客受入促進事業補助金施行 10月 島根の食 屋台村IN玉造開催	10月 平成17年国勢調査実施（人口20万人達成ならず） 11月 宍道湖と中海が第9回締約国会議でラムサール条約に同時登録
2006 (平18)		12月 杭州ジャパンフェスタ出展 12月 犬夜叉松江探訪ツアー開催 2月 観光PRイベント「まつえ『縁結び』 inお台場」開催 4月 山陰デスティネーションキャンペーン開催 4月 パリ牡丹祭り開催	4月 鳥取市との人事交流開始 6月 長山洋子「松江舟唄」全国発売
	7月 北朝鮮によるミサイル発射実験	8月 縁結び祈願「松江の旅」 inお台場 9月 第1回縁結びラヴソングコンテスト開催 9月 松江水燈路期間延長開催 10月 「松江開府400年祭推進協議会」事務局開設 10月 松江観光協会統合 10月 松江ルネッサンス開催	7月 34年振りの大水害～豪雨災害の発生 11月 松江市市民憲章制定記念式典開催

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2007 (平19)		3月 松江市観光振興プログラム策定	
		4月 松江開府400年祭開幕	
		4月 松江イングリッシュガーデンリ ニューアルオープン	
		4月 宍道湖夕日スポットオープニン グイベント	
		5月 クイズ松江検定「松江ものしり 博士」決定戦 開催	
	7月 石見銀山遺跡 世界遺産登録	7月 堀川遊覧船乗客300万人達成	
	7月 全国高総文祭 しまね '07		
		8月 日本初の夕日予報宍道湖の夕日 週間予報開始	8月 世界陸上 アイルランド選手団事 前合宿
		8月 第1回 松江観光文化検定試験	
		9月 松江開府400年祭 シンボルイベ ント「お茶と和菓子のフェスタ」 開催	9月 9月議会において 松江市総合計 画議決
			10月 松江市・宝塚市姉妹都市提携40 周年記念式典
		11月 第3回八雲国際演劇祭	
		11月 松江フォーゲルパーク入場者150 万人達成	
		2月 杵屋五司郎氏、坂東三津五郎 氏、堂門冬二氏まつえ文化夢大使 に任命	
2008 (平20)	4月 後期高齢者医 療制度開始	4月 「きまち湯治村 大森の湯」入 浴者100万人達成	4月 松江市水道施設「国有形文化 財」に登録
		6月 NHK連続テレビ小説「だんだん」 松江ロケ	6月 松江市水道通水90周年
		6月 ホーランエンヤPR看板設置	6月 ひとにやさしいまちづくり条例 制定
	8月 夏季オリンピ ック（北京）	8月 NHKのど自慢開催	6月 伊吹友里「好きだから松江」発 表（イングリッシュガーデン）
	9月 NHK連続テレ ビ小説「だんだ ん」放送開始	9月 松江開府の径ウォーク	8月 オリンピックアイルランド選手 団事前合宿
		9月 松江開府400年祭記念「松江城薪 能」開催	
		9月 松江的ジャポニズム「お城・お 菓子・だんだん縁遊会」開催	
	10月 観光庁発足	10月 「鹿島多久の湯」入浴者100万人 達成	10月 日中友好交流書画展開催
		10月 観光バリアフリーモニターツ アー実施	10月 佐陀川大橋渡り初め
		11月 夕日サミットin松江開催	10月 松江市原子力防災訓練実施
		11月 宝塚歌劇団星組松江公演開催	
			12月 松江テルサ前「水のモニュメン ト」完成

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2009（平21）	1月 オバマ米政権が発足	1月 央道湖しじみ館オープン(31日)	
	3月 ETC割引スタート		3月 だんだん商品券販売
	5月 新型インフルエンザ流行	5月 ホーランエンヤ開催	4月 境港市との人事交流開始
	6月 DBS就航		5月 松江テルサ前「ギャートルズブロンズ像」完成
	8月 民主党が政権交代	8月 「松江城を国宝にしよう市民の集い」開催	
	8月 初の裁判員裁判が開催	8月 松江・境港・隠岐観光振興協議会発足	
		9月 「松江城を国宝にする松江市民議員連盟」設立	
		9月 「松江城を国宝にする市民の会」設立	
		9月 吉田栄作氏、まつえ文化夢大使に任命（7日）	
		10月 お城サミット開催	
		10月 佐陀神能特別観賞会	
		11月 松平直政公ブロンズ像再建	11月 松江市制120周年記念式典開催
		11月 舞台版 連続テレビ小説「だんだん」公演開催	
		11月 文部科学省副大臣に8都市で国宝化の陳情	
2010（平22）	3月 島根原発で点検漏れ		4月 松江開府の径之碑除幕式(3日)
		4月 だんだん舞台セットを活用したそば屋開設(16日)	
	5月 上海万博開幕		5月 映画「RAILWAYS」公開
	6月 サッカー南アW杯開幕	6月 松江イングリッシュガーデンでローズライトフェスティバル開催(4, 5, 11, 12日)	6月 小泉八雲生誕160年祭開催(27日)
		6月 完全復元伊能図全国巡回フロア展開催(24～27日)	
		6月 第9回全国藩校サミットin松江開催(26日)	
	6月 高速道路無料化実験開始(28日)	7月 堀川遊覧船乗客400万人達成(17日)	
	8月 チリ落盤事故		
	10月 「スサノオ」bjリーグ参戦	10月 全国おでんサミットin松江初開催(2, 3日)	10月 松江市男女共同参画都市宣言(16日)
		10月 松江城の国宝指定を求める署名簿を国に提出(6日)	

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2010 (平22)		10月 松江城天守でオープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン開催(10日～11月14日)	
2011 (平23)	11月 尖閣沖で中国漁船衝突事件	11月 「ゴンベの里」誕生祭開催(13日)	
	1月 年末年始記録的大雪(雪害)		
	3月 東日本大震災	3月 松江歴史館オープン(19日) 3月 松江開府400年記念博覧会開始(19日)	
	6月 高速道路無料化実験終了(19日)	8月 松江だんだん夏踊り初開催(25日) 10月 松江大綱引き大会開催(2日) 11月 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録決定(27日) 12月 松江開府400年記念博覧会終了(4日) 12月 松江開府400年祭フィナーレ(25日)	8月 松江市・東出雲町合併(1日)
2012 (平24)			2月 松江市・尾道市姉妹都市協定(5日) 3月 松江だんだん道路一部開通(西尾IC～松江JCT)(24日) 4月 特例市に移行 4月 中海・宍道湖・大山圏域市長会(だんだんサミット)発足
	5月 東京スカイツリー開業		
	7月～8月 ロンドン五輪	7月 ～11月 神話博しまね 〔7月21日～11月11日〕 〔主会場 出雲大社周辺〕	
		9月 まつえ文化夢大使委嘱(宮廻正明氏)(4日) 10月 松江観光協会と東出雲町観光協会物産協会が合併 10月 松江ホーランエンヤ伝承館オープン(28日) 11月 松江文化夢大使委嘱(佐野史郎氏・山本恭司氏(2日))	10月 中村元記念館オープン
	12月 第2次安部内閣発足		

年 次	社 会 の 動 き	松 江 の 動 き	
		観 光 関 係	そ の 他
2013 (平25)	5月 出雲大社 平成の大遷宮 (本殿遷座祭) 6月 富士山が 世界文化遺産に 9月 2020年東京五輪 開催決定 10月 伊勢神宮 第62回式年遷宮	4月 松江観光協会が一般社団法人化へ 6月 堀尾吉晴公の銅像建立 7月 第1回松江怪談談義開催 会場：松江歴史館 (25日) 10月 「松江の吉田くん」誕生 (5日) FROGMAN氏に松江観光大使委嘱 (5日) 松江水燈路が1ヶ月の連続開催 11月 「怪談のふるさと」宣言 (30日) 12月 松江市観光入込客延べ数 年間1千万人突破	3月 松江だんだん道路全線開通 (川津IC～松江JCT) (10日) 松江自動車道全線開通 (玉造IC～三次東JCT) (30日) 6月 産業支援センター発足
2014 (平26)	2月 ソチ五輪開催 4月 消費税が5%か ら8%へ 4月 韓国旅客船「セ ウォル号」沈没 6月 世界文化遺産に 富岡製糸場 8月 広島北部で土砂 災害 9月 全米テニスで錦 織圭が準優勝 9月 御嶽山噴火 10月 出雲大社 千家国麿さん、 典子さんご結婚 11月 和紙がユネスコ 無形文化遺産に	3月 松江商業高校「姫神占い神社クッ キー」完成 6月 舞台「日本の面影」松江公演 7月 ギリシャ・レフカダで、オープン ・マインド・オブ・ラフカディオ ・ハーン開催 7月 「朗読のタベ」ギリシャ公演 7月 「松江怪喜宴」開催 第2回怪談談義：月照寺 怪し会in松江：東林寺 7月 木原浩勝氏に松江観光大使委嘱 8月 鷹の爪超屋台村 (ちゃやまちブラザ) 8月 松江水郷祭が天候不良で延期、 1日開催 (30日) 9月～2月 「朗読のタベ」ギリシャ凱旋公演 10月～11月 第5回八雲国際演劇祭 11月 松江城婚礼の議	3月 レインボージェット就航 4月 新体育館起工 5月 外国人による日本語弁論大会開催 6月 福山市・尾道市災害時応援協定締 結 7月 台北市と「交流促進覚書」締結 8月 友好都市提携15周年吉林市へ訪問 団 12月 銀川市友好都市提携10周年記念銀 川芸術団松江公演

6. 松江市観光関係事業補助金など

松江市観光関係事業補助金交付要綱

平成27年1月1日現在

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
松江市鑿行列振興対策事業補助金	本市の伝統行事「鑿行列」の振興発展を図ることを目的とする	鑿行列の振興発展に関する事業に要する経費	直接事業経費	市長の定める額	平成27年3月31日	松江市鑿行列保存会
		鑿保存庫の新設、改築又は修繕に要する経費	工事費については敷地の購入又は借地に要する費用並びに新設予定地の既存建物を除去するために建物を解体移転に要する費用については補助金算出の対象としない	工事(制作)費の100分の30以内とする。但し補助金の限度額は最高100万円までとする。	平成27年3月31日	町内自治会等の鑿保存組織
		鑿又は鑿台の新調又は修繕	直接事業経費			
松江市観光振興対策事業補助金	本市の観光事業の振興発展を図ることを目的とする	一般社団法人松江観光協会の運営及び事業に関する経費	一般管理経費	市長の定める額	平成27年3月31日	一般社団法人松江観光協会
			直接事業経費			
		公益財団法人松江市観光振興公社の運営及び事業に関する経費	一般管理経費			公益財団法人松江市観光振興公社
			くにびき駐車場整備費償還経費			
			パークアンドバスライド事業経費			
			黒田駐車場運営事業経費			
			地ビール館建設費支払利息補填経費			
			くにびきメッセ職員派遣事業経費			
			堀川遊覧船振興事業経費			
			レストラン事業経費			
		市内商工会議所及び商工会の事業に関する経費	一般事業経費			松江商工会議所 まつえ北商工会 まつえ南商工会 東出雲町商工会
		観光周遊バスの運行に関する経費	ぐるっと松江レイクライン運行経費			松江市交通局

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
松江市観光振興対策事業補助金	本市の観光事業の振興発展を図ることを目的とする	玉湯川の美化活動の推進に関する経費	直接事業経費	市長の定める額	平成27年 3月31日	玉湯町河川愛護団体
		美保関町の観光振興の推進に関する経費	直接事業経費			美保関地域観光振興協議会
		嫁ヶ島の観光利用に関する経費	嫁ヶ島の観光利用に関する経費を対象とし、補助対象経費は以下のとおり。 ①イベント開催経費（渡船経費・会場設営費・人件費・広報費・諸経費） ②市長が必要と認めるもの	補助対象経費の1/2		NPO法人水の都プロジェクト協議会
		潜戸観光遊覧船の運営に関する経費	一般事業費	市長の定める額		一般社団法人加賀潜戸遊覧船
		怪談のふるさと松江の推進に関する経費	一般事業費	市長の定める額		市長が必要と認めた団体
松江市祭行事等補助金	本市の観光事業の振興発展に寄与することを目的とする	松江水郷祭	直接事業経費	市長の定める額	平成27年 3月31日	松江水郷祭推進会議
		松江水燈路	直接事業経費			松江ライトアップ・キャラバン実行委員会
		観光施設ライトアップ	直接事業経費			ライトフェスティバル実行委員会
		神在月ツーデーウォーク	直接事業経費			神在月ツーデーウォーク実行委員会
		まつえ暖談食フェスタ	直接事業経費			まつえ暖談食フェスタ実行委員会
		郷土行事	市長が必要と認めた郷土行事			公益財団法人松江市観光振興公社
		茶の湯文化推進事業	直接事業経費			
		その他観光イベント行事	直接事業経費			その他市長が必要と認めた団体

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
松江しんじ湖温泉振興対策事業補助金	本市の観光事業の振興発展を図ることを目的とする	観光客誘致宣伝、温泉街の環境整備及び防火防災に関する事業に要する経費		市長の定める額	平成27年3月31日	松江しんじ湖温泉振興協議会 松江しんじ湖温泉旅館協議会
松江市バリアフリー情報提供事業補助金	松江市を訪れた、又訪れようとしている障害などがある方に、市内のバリアフリー情報を一元化して提供する。また、旅のコーディネートを行うことを目的とする事業を行う事業者に対し、補助を行うことにより、新たな観光誘客を図ることを目的とする。	バリアフリー情報提供に要する経費	①松江市内の観光、宿泊施設及び交通機関のバリアフリー情報の収集 ②バリアフリー情報の提供及びPR、ホームページの作成 ③障害者及び高齢者の旅の受入れ及びコーディネート ④介護ボランティアの派遣 ⑤上記事業を行うための必要な業務	市長の定める額	平成27年3月31日	NPO法人プロジェクトゆうあい
松江市コンベンション開催支援補助金	本市の人的交流の増加と国際化の進展及び文化の向上を図るとともに、コンベンション参加者が観光施設を周遊するための利便性を高めることにより、観光事業の振興発展に寄与することを目的とする	①コンベンションの開催に要する経費	会議、学会、大会等の催しで、次の要件をすべて満たすもの ①松江市内の施設等で開催されるもの ②学術会議は中国地区以上の規模であるもの ③スポーツ大会にあっては西日本以上の規模であるもの ④松江市内の宿泊施設で宿泊するものであって、その宿泊者が延べ50人以上であるもの ⑤スポーツ大会にあっては延べ宿泊者数が300人以上であるもの ⑥営利を目的としないもの ⑦コンベンションの内容が次のいずれかに該当するもの (ア)学術、文化、芸術、スポーツの振興に寄与するもの (イ)産業、経済の振興に寄与するもの (ウ)その他市長が認めるもの	市長の定める額	平成27年3月31日	一般財団法人くびきメッセ
		②コンベンション観光バスの運行に要する経費	「①コンベンションの開催に要する経費」の要件を満たす催しにおいて、市長の定めによるコンベンション観光バスを運行するもの	バス1台につき54,600円		
		③大学等の合宿の開催に要する経費	大学、短期大学、専門学校等（島根県、鳥取県を除く）の学生のサークル等の合宿、研修等で、次の要件をすべて満たすもの ①松江市内の施設等で開催されるもの ②松江市内の宿泊施設で宿泊するものであって、その宿泊者が延べ50人以上であるもの	市長の定める額		

補助金等の名称	補助金交付の目的	補助金等の対象である事務又は事業の内容		交付の率又は金額	終期	補助事業者等の範囲
島根半島(東部)地域自然公園環境美化事業費補助金	島根半島(東部)地域の自然公園の環境美化を推進し、観光資源の保全を図ることを目的とする。	①自然公園内の島根町地内における美化活動の推進を図る事業	直接事業経費	市長の定める額	平成27年3月31日	島根町花と緑の会
		②大山隠岐国立公園内の五本松公園及び北浦海岸等における美化清掃の推進を図る事業				美保関町を美しくする会

松江市コンベンション開催支援補助金制度

*対象コンベンション 松江市内での宿泊・開催

参加者数 (延べ宿泊者数)	中国地区	西日本地区	全 国	国際大会
50 人以上 300 人未満	60,000 円	80,000 円	100,000 円	全国大会の全額に個人一人あたり 5,000 円を乗じた金額を加えた額とする。 限度額 3,000,000 円 (10 名以上の国外参加者がある場合)
300 人以上 500 人未満	120,000 円	160,000 円	200,000 円	
500 人以上 1,000 人未満	225,000 円	300,000 円	375,000 円	
1,000 人以上 2,000 人未満	450,000 円	600,000 円	750,000 円	
2,000 人以上	600,000 円	800,000 円	1,000,000 円	

*対象とならないもの ●毎年開催されるもの ●営利を目的とするもの ●展示会・見本市
●宗教及び政治に関する目的で開催されるもの

*平成 24 年 4 月から、スポーツ大会においては、延べ宿泊数が 300 人以上であるものは対象となります。

松江市歓迎看板・郷土芸能の提供制度

看板掲出場所 1. 会場入口 2. J R 松江駅改札口
3. 出雲空港到着ロビー 4. 米子空港到着ロビー

規模	種類	中国地区	西日本地区	全国	国際
100 人以上 300 人未満	看 板	2 枚	2 枚	2 枚	4 枚
	芸 能	B	B	B	A
300 人以上 500 人未満	看 板	2 枚	3 枚	3 枚	4 枚
	芸 能	B	A	A	A
500 人以上 1,000 人未満	看 板	2 枚	3 枚	3 枚	4 枚
	芸 能	A	A	A	A
1,000 人以上 2,000 人未満	看 板	3 枚	4 枚	4 枚	4 枚
	芸 能	A	A 又は海潮神楽	A 又は海潮神楽	A 又は海潮神楽
2,000 人以上	看 板	3 枚	4 枚	4 枚	4 枚
	芸 能	A 又は海潮神楽	A 又は海潮神楽	A 又は海潮神楽	A 又は海潮神楽

芸能の種類	内 容	演 奏 時 間	備 考
民 謡 A	安来節唄と踊り、しげさ節 踊り、関の五本松踊り、銭 太鼓、どじょうすくいなど	30 分程度	三味線 1 名、つづみ 1 名、唄 2 名 踊り 6 名 (計 10 名)
民 謡 B		30 分程度	三味線 1 名、つづみ 1 名、唄 1 名 踊り 2 名 (計 5 名)
海 潮 神 楽		30 分程度	大太鼓・唄 2 名、つづみ 1 名 踊り等 7 名 (計 10 名)

「松江市コンベンション観光バス」の運行

【対象】

- ・松江市コンベンション開催支援補助金の対象となるコンベンション
- ・松江市内で開催される中国地区規模以上で会期2日以上のもの（宿泊をとまなうもの）

【運行条件】

- ・松江市内の観光施設（有料施設のみ）を対象として、2施設以上コースに組み込むこと。
ただし、「松江城」、「小泉八雲記念館」、「小泉八雲旧居」、「武家屋敷」、「松江フォーゲルパーク」、「明々庵」、「松江歴史館」のどれか1施設を必ず組み込むこと。
- ・運行時間は1日4時間。1台あたり35人以上の利用者が必要である。
- ・観光バスの運行台数は1団体3台。ただし、大会規模等により特別な場合はご相談ください。

④松江市外の観光施設への運行は対象外です。

【観光バスの予約】

- ・観光シーズン（4月～11月）3か月前から受付、1か月前の締め切り。
- ・オフシーズン（12月～3月）1か月前から受付、20日前の締め切り。

※施設入場料は個人負担です。

※観光バスを1日貸し切の場合は超過分のバス代が掛かります。

※コースプラン及びバスガイドをご希望される場合はご相談下さい。

平成26年版

松江市観光白書(資料編)

発行 平成28年6月

編集・発行 松江市産業観光部観光文化課

〒690-8540

松江市末次町86番地

TEL 0852-55-5214

FAX 0852-55-5634